

# 災害・緊急医療機器標準化支援事業

## 検討会レポートⅢ

事務局 中部オフィス 高橋 弘章

第3回目の検討会レポートは、2013年2月20日、3月1日、3月21日に実施した検討会活動をご報告致します。

第2回目では複数の製品構想案を描くため、NFS変換結果とともに、顧客特性を4W1H（Why、When、Where、Who、How）の観点から情報整理しました。

今回は仮想カタログを用いて、複数の製品構想案を具体化していきます。

仮想カタログは、商品コンセプト、セールスポイント、ユーザーメリット、サポート（メンテナンス等）の特徴、オプション構成等の観点から、製品の企画内容を明確化させていくことを目的としています。また、作成した仮想カタログを持ってプレマーケティングを行い、新たな視点から課題を抽出することも目的の一つとなります。今回、災害・緊急医療分野に携わる方々にプレマーケティングを実施し、声を拾い、新たな課題を抽出し、仮想カタログの練り上げへと繋げていきました。

仮想カタログ作成、並びにプレマーケティングにおける重要なポイントは3点あります。

### <1点目>

「製品イメージを具体化して曖昧な点をあぶりだす」

→対象とする災害・緊急医療機器モデルを具体的に仕様項目に落とすことで曖昧な点が把握でき、検討課題を見出し易くなる

### <2点目>

「複数の立場から考える」

→災害・緊急時に製品を使用する方々はどんな立場（例；老若男女など）であったり、どんな状況でどのように使用するかによって必要な機能も変わってくるため、各々の立場から考えることが重要となる

### <3点目>

「意図を持ったプレマーケティングを推進する」

→災害・緊急医療分野で活動されている方々に対し、検討を重ねた製品の特徴にズレはないかを確認することは当然であるが、どの様なフィードバックを得たいのかといった意図を予め明確にしておくことが重要であり、効果的な検証に繋がられる

次回は、日進医療器様にて試作品を披露し、ターゲットとなる方々に向けた提案発表の実施となります。

最終回（第4回）検討会レポートの公開は4月上旬を予定しています。

■ 本事業に関するご紹介はこちらから >> [http://www.jmac.co.jp/special/health\\_care/](http://www.jmac.co.jp/special/health_care/)

### 仮想カタログ

Innovating Force by JMAC

- 目的
  - ・企画内容を技術者自らが思考し、ブレない企画内容を練り上げる
  - ・顧客起点で発想し、潜在ニーズを探ることで、より高い商品価値を追求する
- 検討手順
- フォーマットイメージ

① 企画不明確部分の明確化	事業の目的、設置付け	商標案件	対象市場	販売目標
② 技術者から見た仮説の立案	セールスポイント	商品概要		実用方法
③ 内部検証による仮説の練り上げ	商品コンセプト	オプション構成		
④ フィールドでの仮説検証 (プレマーケティング... ユーザーへのヒアリング等)	ユーザーメリット	特許による優位性	サポートの特徴	用途の説明

©2013 JMA Consultants Inc. 0